

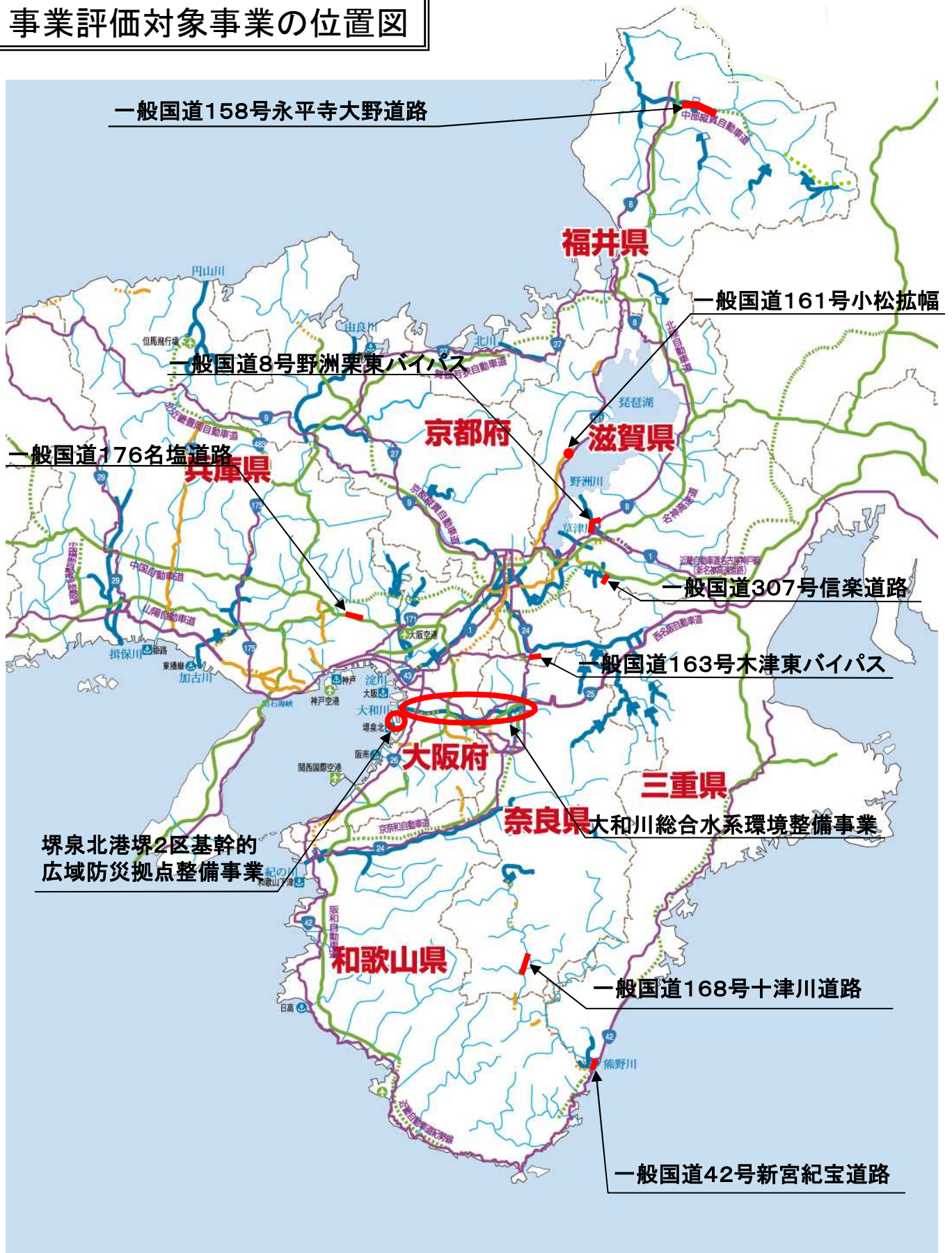
No. 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成27年度 第3回)

事業評価対象事業の一覧表及び位置図

平成27年11月30日

国土交通省 近畿地方整備局

事業評価対象事業の位置図



平成27年度第3回 事業評価対象事業の一覧表

(再評価)

No.	事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価理由	事業概要
1	河川事業	大和川総合水系環境整備事業	H26	⑤	<p>●概要 : 多様な生物の生息・生育、快適な親水活動が可能となるような水質改善、多様な生物の生息、生育、繁殖環境の保全、再生、沿川市と連携した河川空間の整備を図るもの。</p> <p>●事業化年度 : 昭和57年度 ●全体事業費 : 211億円 ●事業の進捗 : 約96% ●今後の予定 : 平成35年度に事業完了予定</p>
2	港湾整備事業	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点整備事業	H24	④	<p>●概要 : 京阪神都市圏における大規模震災時において、広域的な災害対策活動を効果的に展開するために必要な基幹的広域防災拠点を整備し、京阪神都市圏の防災安全性の向上を図る。また、平常時における市民の憩いの場を提供する。</p> <p>●事業化年度 : 平成20年度 ●全体事業費 : 88億円 ●事業の進捗 : 約91%</p>
3	道路事業	一般国道158号永平寺大野道路	H24	④	<p>●概要 : 中部縦貫自動車道の一部を構成し、高速交通ネットワークを形成するとともに、安定した交通の確保、文化・地域資源を活かした地域経済の活性化、医療活動の支援を目的とした延長26.4kmの道路。</p> <p>●事業化年度 : 平成2年度 ●全体事業費 : 1,491億円 ●事業の進捗 : 約94% ●今後の予定 : 平成28年度に永平寺IC～上志比ICの5.3km区間の2車線開通を目指す。</p>
4	道路事業	一般国道161号小松拡幅	H24	④	<p>●概要 : 琵琶湖西縦貫道路の一部として湖西地域の幹線道路のネットワークを強化するとともに、国道161号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善を目的とした延長約6.5kmの道路。</p> <p>●事業化年度 : 昭和45年度 ●全体事業費 : 190億円 ●事業の進捗 : 約30% ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</p>
5	道路事業	一般国道163号木津東バイパス	H22	②	<p>●概要 : 木津川市の国道24号、163号の重複区間における慢性的な地域の交通混雑の緩和や関西文化学術研究都市「木津中央地区」の開発、地域のまちづくりを支援することを目的とした延長0.6kmの道路。</p> <p>●事業化年度 : 平成23年度 ●全体事業費 : 33億円 ●事業の進捗 : 約28% ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</p>
6	道路事業	一般国道168号十津川道路	H25	⑤	<p>●概要 : 五條新宮道路の一部を構成し、国道168号の通行止めによる迂回の回避、通学交通の確保を図るとともに、医療施設へのアクセスの向上を目的とした延長約6.0kmの道路。</p> <p>●事業化年度 : 平成8年度 ●全体事業費 : 306億円 ●事業の進捗 : 約84% ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</p>
7	道路事業	一般国道8号野洲栗東バイパス	H24	④	<p>●概要 : 国道8号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善を図ることを目的とした延長4.7kmの道路。</p> <p>●事業化年度 : 昭和57年度 ●全体事業費 : 290億円 ●事業の進捗 : 約7% ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</p>
8	道路事業	一般国道307号信楽道路	H24	④	<p>●概要 : 国道307号の交通混雑の緩和、交通安全の確保等を踏るとともに、新名神高速道路へのアクセス強化により、地域の活性化を支援することを目的とした延長2.9kmの道路。</p> <p>●事業化年度 : 平成12年度(1工区)、平成16年度(2工区) ●全体事業費 : 80億円 ●事業の進捗 : 約20% ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</p>
9	道路事業	一般国道42号新宮紀宝道路	H24	①	<p>●概要 : 国道42号の渋滞緩和、救急医療活動の支援等に寄与するほか、災害時の救命活動や地域復興支援に寄与することを目的とした延長2.4kmの道路。</p> <p>●事業化年度 : 平成25年度 ●全体事業費 : 約210億円 ●事業の進捗 : 約1% ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</p>
10	道路事業	一般国道176号名塩道路	H24	④	<p>●概要 : 国道176号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善を目的とした延長約10.6kmの道路。</p> <p>●事業化年度 : 昭和60年度(1、2、3工区)、昭和63年度(1-1、1-2工区) ●全体事業費 : 850億円 ●事業の進捗 : 約90% ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</p>

[再評価理由]

- ①: 事業採択後3年間の経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間の経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間の経過している事業
- ④: 再評価実施後3年間の経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業